



HANA

みなさんこんにちは

だんだんとあたたかくなり、

チューリップなども咲いてきましたね!

本を読むことと、ピアノをひくこと、プールでお泳ぐことが

好きな女の子が描いて下さった絵です♡

スタッフ一同心より感謝致します。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮膚科クリニック*

①

診療時間について話を書かせて頂きます。昨年 12 月までの職員の一日はおよそこの様でした。8:00 出勤→診療前の準備→8:30 開門→8:40～9:00 朝礼・カフェレンス→9:00 午前診療開始→13:00～13:30 午前診療終了→残務処理→14:00 昼休み→15:00 午後診療開始→20:00～20:30 診療終了→20:30～20:45 帰宅

ざっとこの様な流れを 5 年弱行って参りました。

患者様の中には何やら意味深に「また、職員が新しくなったんかい」。とおっしゃる方がおられました。しかし、立場を変えて考えてみて下さい。当該医療機関はほぼ女性主体の職場です。すなわち結婚もすれば妊娠もします。つまり家庭を持った時、妻が自分の帰りより遅かったらどうでしょうか。結婚や妊娠後も続けさせるでしょうか。なお先程おっしゃられた患者様も現代日本の有業者 6000 万人のお一人でもあられる訳で、会社では上司として先輩として部下や後輩がいることでしょう。その付き合いの中で世代間のギャップによる見地観点の違いで苦慮された経験はあるはずです。

私は君子ではありません。将又自治体から助成を受けている病院を営んでいる訳ではありません。

生きるも死ぬも、民間企業と同様、努力のいかん又は、それに伴う結果で生計をたてています。

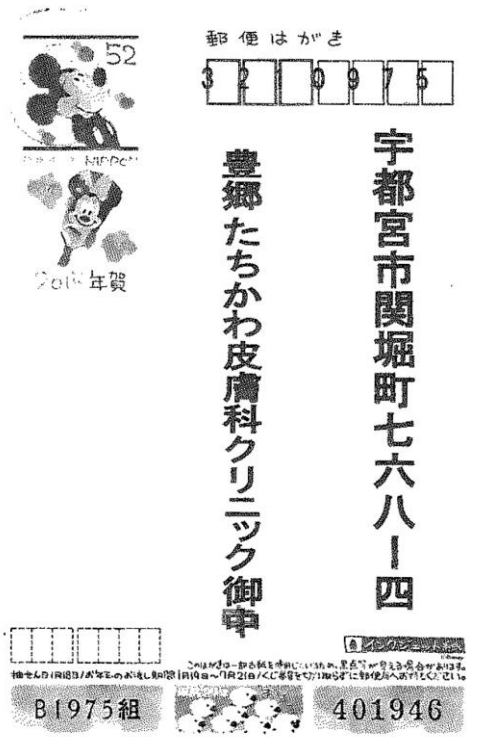
私はそれを理解した上で申し上げます。受付で最近よく耳にする「受付時間が短くなったので来れない」、「何時までに来院する様にと言われても来れない」等の要望に対応させて頂く事は少なくとも現時点では困難であります。しかしながら医療人としては揺るぎない信条があります。当クリニックを希望される患者様にはとことん真剣に向き合い拝診させて頂く所存であり、これは今後も変わることはありません。

②

もう一つ、この様な葉書を先日頂戴致しました。

(当クリニックは2015年2月14日からブログを始めました)

ブログのこと一言申し上げます。
差し入れの記事ばかりが目立ちますが
正直言って差し入れを強要されているようで不
愉快です。
おれは差し入れをして下さった患者に直接言え
ば良いこと。
何か土産を持っていかないと不味いのか？
と不快に思う患者がたくさんいるんですよ。
もう少し美容系や肌の手入れとかクリニックら
しいブログは
書けないのでしょうか？
誰がイチゴを持ってきた、とか大福を持ってきた
とかそんなばかりで
呆れています。



お送り下さった方が不明であったので当方としての解答をどちらにお伝えしたら良いかと考えましたが、ご本人の目に留まればと思い本誌に解答させて頂くことにしました。

さて、こちらの方にあえて申し上げます。当クリニックは大変幸せなことに毎日の様に患者様からのお心遣いを賜ることがあります。これは自慢をしている訳でも、あなた様がお感じになっておられる強要や強制をしている訳でもありません。それに掲載しているのはブログであります。昨今のブログの位置づけは言わば公開日記の様なものです。因みに他院（特に美容系クリニック）のブログにも同内容のことは数多くアップされていますのでよろしければご覧下さい。容易に見つかるはずですが。

尚、この葉書を拝見したためあえて申し上げるのですが、これらのお心遣いに対し当方は可能な限り一方通行にならない様、院内に飾っている新鮮なお花を気に入って下さる方にお礼として進呈したり、院長の好物である特別美味な食材を、頂き物をした患者様にお返しをしております。本当にあなた様のおっしゃる様に強要目的でブログにアップしているのなら、クリニックとしてわざわざ経費がかかる事はしないはずですが如何でしょうか。

日本人にとって古くから贈り物とは、損得ではなく心からのお礼であったり、感謝であ

ったり、時にお詫びであったりするもので、贈られる方も贈る方もお互いに納得のいくものであると私は思います。

つまり、ブログへの掲載は、言葉を添えた私達の感謝の型であり他意はありません。

増しては、「強要されているようで」「不愉快です」「何か手土産を持っていかないと不味いのか？」などと考えるお方なのであれば、このブログをご覧になる必要はありませんし、何よりお名前を伏せてまで当クリニックに来院されずとも気持ち良く通院できる他院を探す方に労力をお使いになられた方が、ご本人様の利になるかと存じます。

先日、ある方からクッキーの詰め合わせを頂きました。

そこに添えられていた9頁に及ぶお手紙の内容です。

その方は、ご自身の生い立ちから、戦時中特攻隊に志願し突撃の日まで決っていたそうです。しかし、直前に終戦をむかえ九死に一生を得たと書かれていました。しかし、多くの戦友を失い自身は生き残ったことによる苦悩を追い、今でもその十字架を背負っておられます。戦後は助けられた命と理解し、日本の復興に何かご自身でも出来る事はないかと考え起業し、高度経済成長の一助となろうと身を粉にしてこられました。しかし少し前から誠に遺憾ではありますが、ある悪性新生物に侵され闘病生活を余儀なくされています。今回、突然の贈りものであったため、一日でも早い方が良いと考え心ばかりのものを贈らせて頂きました。すると後日嬉しいお葉書を賜りましたのでご紹介させていただきます。

前田君
この度は珍しい栄養物「高原卵」と言
うものをお送り下さいまして有難うございました。
厚情に甘えて早速、御飯にかけ「たまご
頂きました。黄身があとやかに赤いのって、ひっ
くりしました。私の好きな茜色でした。
からいもようこんで 喚声をあげている
気がいたしました。
先ずは 御礼申し上げたく、一筆
したためました。
平成二十七年四月十五日
刀川院長先生 机下
合掌

100 人が同時にラーメン屋を始めたとします。それぞれが本当においしいラーメンをひたすら追求していくと最後には全てのラーメン屋が人気店となる。

しかし、ラーメンの味を比べてみると一つとして同じ味はない。出しも、麺も、製法も、具材も、量までもが。何もかもが一つとして同じものはない。

自分がとことんこだわると勝手に自分らしくなっていく。

そして客は A 店が一番だと言い、別の客は B 店が最もうまいと言う。しかし、それは好みの違いによる評価とも言える。

私は今までの 5 年間、一人でも多くの方に来院して頂ける様、受付時間も含めて考慮して参りました。

でも、いくら人気店のラーメン屋でも麺やスープが無くなったら一端店は閉めて次の仕込みに入ります。

当然良い味を保つためには休業日も必要です。しかし、全ての休業日に休んでいる訳ではありません。技を磨くべくラーメン道を追求している時間も少なくないでしょう。一方でファーストフード店（チェーン店）やファミリーレストラン（チェーン店）では、A 店と B 店で同じメニューに味の違いがあったのでは、店舗間に差がでます。次第にそれはグループ全体の評価を下げることになります。

当クリニックは、一店舗のラーメン屋と同じ、言わばオンリーワンであります。ですから院長の治療方針やスタッフの動きを含めたクリニックのカラーを好んで下さる患者様に、長く好んで頂ければ本望です。

そのために私は一意専心の如く努力して参る所存です。

院長・拝